

一 般 質 問

広 田 清 晴 議 員

町長は町一歩の目線に!!



問 国民健康保険証の取り上げ（資格証明書の発行）は、全国的な問題になっている。生存権を保障した憲法や命に関わる問題。慎重な対応を求める。

答 合併後「資格証明書交付取り扱い基準」に基づいて事務を進めている。特別の事情（災害・病気・倒産）の場合相談に乗りますし、何が何でも取り上げる事はしていない。誠意が感じられない場合資格証を発行している。（発行数・94世帯143人）

問 今、町民は各種福祉サービスの交代と合わせ国の地方税法の改正（住民税増税）昨年の国保税の（大幅）引上げ（世帯あたり2万円越え）介護保険の引上げ等町民生活は大変な状況。その上、今年は

水道料金（全体で年間約5,000万円）負担増。これではたまったものではない。

答 国の改正に伴う影響は21,590人、1億4050万円の負担増。

問 中学校の統廃合問題について、沖浦地域での説明会において、「決まった事、時間がない」等で十分な説明がなされてないと聞かす。

答 統合問題については「議論の保障が大事」と指摘を受けたことは十分承知している。他の会場からはそのような指摘を受けていないので、沖浦地区での説明不足との指摘については残念。今後とも統合問題については丁寧な対応を心がけたい。

意見 その他、厚木からの艦載機移転問題については改めてご報告します。

安 本 貞 敏 議 員

復活！再生！大島ミカン!!



問 少子高齢化の進む中、町民が安心して暮らせる町として、警察などとの連携体制はいかに。

答 刑法犯罪の発生がようやく減少傾向にはなってきたが、住居侵入、自販機荒らし、悪質な訪問販売、オレオレ詐欺など、多様なトラブルが発生している。本町では自分たちの町は自分達で守ろう」という気運が高まっているが、基本姿勢として、警察などと連携して町民が安心して暮らせる町づくりを進める。

問 高齢化の進む中、将来の町としての、柑橘を主体にした農業推進をどう考えるか。

答 高齢化、後継者不足、みかん価格の低迷等により、耕作放棄

が増えてきているのが現状。町として単県事業である「山口の多彩な園芸産地育成事業」を活用し、園内道等の整備をはかり、又、優良品種への積極的な改植を推進し早期産地化を図り、今後の農業振興を最重点課題として、諸施策を総合的に推進していく。

問 町内の各種税金などの滞納の実態と、今後の収納に向けての取り組みは。

答 上下水道料、町営住宅、学校給食費、国民健康保険税、町民税の滞納者への対応は、平成18年4月から、税務課徴収対策班を新設し、滞納支援システムを導入して、きめ細やかな納税相談を進めている。適正課税と適正徴収の基本原則を旨として、法令遵守と説明責任を果たしながら納税秩序の確立に努めていく。